

建設工事請負契約書



1 建設工事名 令和〇〇年度 〇〇事業
〇〇〇〇〇〇工事

2 建設工事箇所 裾野市〇〇〇地内

3 工 期 着 手 令和〇〇年〇〇月〇〇日
完 成 令和〇〇年〇〇月〇〇日

4 請負代金額 ¥11,000,000-

うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥1,000,000-

5 請負代金の支払

前払金額 ¥4,400,000

中間前払金額 ¥2,200,000

部分払回数 〇回以内

前払金・中間前払金・部分払回数について不要な場合は、———で消す。中間前払金か部分払のどちらかを選択する。中間前払金を選択した場合は部分払を———で消す。部分払を選択した場合は中間前払金を———で消す。ただし、受注者の権利なので、安易に消さないこと。中間前払金と部分払の併用は不可。

6 契約保証金額 ¥1,100,000-

ただし、裾野市契約規則第30条第〇項第〇号該当により納付を免除

請負代金額が、300万円以上の場合
は、保証会社等が提示する額を記載。

請負代金額が300万円未満の場合
は、請負代金額の1/10の金額を記
載。

- ① 現金で支払う場合、ただし書を消すこと。
- ② 現金で支払わない場合、ただし書を記載し、以下の該当する「項」と「号」を記入すること。

第2項

- 第1号 履行保証保険契約の締結
- 第2号 工事履行保証契約を締結
- 第4号 請負代金額300万円未満

第3項

- 第2号 金融機関の保証 又は
前払金保証事業会社の保証

発注者 裾野市長
住所
受注者 商号又は名称
氏名

契約書に係る記載事項

- ① 契約日
落札決定日及び土日祝日を含んでカウントした 7 日以内。
契約日は土日祝日にならないこと。
- ② 着手日
契約日及び土日祝日を含んでカウントした 7 日以内。
着手日は土日祝日にならないこと。
- ③ 完成日
指名通知や公告に記載された完成日を記載。
「〇日間」と指示されている場合、着手日を含んでカウントを開始し、完成日が土日祝日にならないよう着手日で調整すること。
- ④ 請負代金額
消費税及び地方消費税込で記載すること。
- ⑤ 前払金
請負代金 300 万円以上の建設工事について、請負代金の 40%以内（10 万円未満切捨）とする。不用の場合は、——線で消して空欄にしないこと。ただし、受注者の権利なので、安易に不要としないようにすること。
- ⑥ 中間前払金
請負代金 300 万円以上の建設工事について、⑤の前払金を記載した場合に記載することができる。請負代金の 20%以内（10 万円未満切捨）とする。中間前払金か部分払のどちらかを選択すること。中間前払金を選択した場合、部分払は——線で消して空欄にしないこと。ただし、受注者の権利なので、安易に不要としないようにすること。
- ⑦ 部分払
指名通知や公告に記載された回数を記載すること。中間前払金か部分払のどちらかを選択すること。部分払を選択した場合、中間前払金は——線で消して空欄にしないこと。ただし、受注者の権利なので、安易に不要としないようにすること。
- ⑧ 契約保証金額
請負代金額が 300 万円未満の場合も、請負代金額の 10 分の 1 の金額を記載すること。
現金で納付する場合は、「但し書き」部分を削除すること。
但し書きは、「ただし、裾野市契約規則第 30 条第〇項第〇号該当により納付を免除」とすること。第〇項第〇号部分については、該当するものを下記より選択して記入すること。

【第 2 項】

- 第 1 号 履行保証保険契約の締結
- 第 2 号 工事履行保証契約を締結
- 第 4 号 請負代金額 300 万円未満

【第 3 項】

- 第 2 号 金融機関の保証 又は前払金保証事業会社の保証

契約に係る添付書類

下記の書類は、契約締結後、土日祝日を除く 7 日以内に提出し、書類の日付は契約日または着手日に合わせること。

① 工事工程表 1 部

別紙を添付してホチキスで留める場合、1 枚目と 2 枚目を代表者印で割印する。

② 工事着手届 1 部

③ 現場代理人等通知書 1 部

区分欄の主任又は監理技術者のどちらかを○で囲む。

資格区分は、建設業法第 7 条又は第 15 条に定める区分により該当するイロハを○で囲む。

④ 主任技術者略歴 1 部

資格を証する書類の写を添付する。

⑤ 課税又は免税事業者の届出 1 部

課税期間は消費税法第 17 条の課税期間であり、個人事業者はその年、法人はその事業年度による。

1 事業年度分に工期の全過程が含まれない場合、次事業年度分を提出すること。

(例) 工期 R5.5.1 から R6.2.28 で、事業年度 R5.1.1 から R5.12.31 の場合、事業年度 R6.1.1 から R6.12.31 の届出も提出すること。

⑥ 契約保証証券等 1 部

請負金額 300 万円以上の建設工事について、契約日や着手日に注意して保証会社等に申し込み、発行された証券を添付すること。

⑦ 建退共掛金収納書等 1 部

建退共に加入しない場合や不要の場合は、その旨記載した書式を添付。

⑧ 仲裁合意書 2 部 (裏面も印刷すること)

⑨ 保険の加入が証明できる書類の写し 1 部

火災保険、建設工事保険、その他の保険の証券等の写しを添付すること。

受注者によって、加入している保険が異なるため、どの保険証券等をコピーすればよいか不明の場合は、総務課へ問い合わせること。

様式は、

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/sangyo/5/3110.html>

からダウンロードしてください。

(例) 工期 10 日間の場合

月	火	水	木	金	土	日
落札決定日				契約日		
1	2	3	4	5	6	7
				1	2	3
4	5	着手日	7			
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	完成日		

落札決定日から 6 日目、7 日目は土日なので、契約日としては×。落札決定日から 5 日目を契約日とする。

契約日から 7 日目を着手日にする、完成日が土曜日になってしまうので、契約日から 6 日目を着手日とする。